

寛容の捻れ と 現代アメリカのリベラリズム ——枢要徳の困惑



講師：森本 あんり
(東京女子大学 学長)

2023年11月15日(水)

16:40～18:10

会場：同志社大学
烏丸キャンパス志高館SK110教室

1956年神奈川県生まれ、国際基督教大学、東京神学大学大学院、プリンストン神学大学博士課程修了 (Ph.D)。国際基督教大学人文科学科教授、プリンストン神学大学とバークレー連合神学大学院で客員教授、2012-2020年国際基督教大学学務副学長、2022年同大学名誉教授、同年より現職。近著に『反知性主義』（新潮社）、『異端の時代』（岩波書店）、『不寛容論』（新潮社）など。

講演要旨

寛容は、現代リベラリズムの枢要徳として扱われているが、歴史的に見るとその理解はかなり歪曲されてきた。寛容の成立と条件に不寛容が含まれていることを理解しないと、「寛容を強制する不寛容」という矛盾に陥る。21世紀の移民問題は、この問題を特に強く意識させることになった。他に、今日の社会的分断の背景にある「自尊心」の問題、なぜアメリカを含む各国で中道が衰退し急進右派が伸張しているのか、などに言及できればと考えている。